

# 和華蘭の窓

## 長崎大学附属図書館報

THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

2011年(平成23年)7月1日 第114号

和華蘭(わからん)とは日本・中国(東洋)・オランダ(西洋)がミックスした長崎独特の文化様式を表現する言葉です。

### 本物の力。

#### 新館長・分館長からのメッセージ

新しい時代の長崎大学附属図書館をめざして  
姫野順一館長 ..... P.2

経済学部分館長就任にあたって  
赤石孝次経済学部分館長 ..... P.3

医学部卒業生から寄附 ..... P.5



侍姿をしたボードイン兄弟

### 本物を探す。

医中誌Webバージョンアップ ..... P.5

データベースNEWS ..... P.6

図書館ガイダンス(2011) ..... P.8~9



アルバムと額装による展示

### 本物と出会う。

電子ブックを読んでみよう! ..... P.7

学長推薦図書コーナー ..... P.10

先生方からの寄贈図書 ..... P.11



透明スタンドによる展示

### 本物に会いに行く。

#### 長崎・写真傳來 — 知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編 —

会場：長崎歴史文化博物館3階企画展示室

期間：6月11日(土)～7月8日(金) ※休館：6月21日(火)

開館時間：午前8時30分～午後7時(入館は午後6時30分まで)

長大生無料!(学生証の提示で観覧できます) 展示会について詳しくは ... P.4

前期試験/夏休み中の開館時間・休館日・長期貸出のお知らせ ... P.12

# 新しい時代の長崎大学附属図書館をめざして

館長 姫野 順一

## 『自学』の場づくりと国際情報発信に向けて

長崎大学附属図書館の建物は40年を経て、狭隘化と老朽化がめだちます。中央図書館は耐震基準を十分に満たさず早期改修が必要です。改修が進めばハード面だけでなくソフト面でも大きな改善が可能となります。5月の連絡調整会議で、改修を念頭に置きながら、『自学』の場づくりと国際情報発信に向けて」と題して図書館改革につき所信を表明しましたので、その概要をお知らせします。

## 「附属図書館憲章」の策定

まず、長崎大学における学術情報の基盤と環境を充実させ、学生と教員の教育研究に資するという附属図書館のミッションを踏まえ、長崎大学の中長期計画における附属図書館の役割を見直し、「附属図書館憲章」の策定に取り組みます。

## 「自学・自習」の場の創出

また、教育支援については、学生の「自らが立てた新たな課題を解決する能力」を支援するため、教員と図書館職員が連携して、図書館にラーニング・コモンズとしての「自学・自習」の場を創出します。複数の学生が「自学・自習」のために図書館に集まり、電子情報や印刷情報を使いながらグループで議論し、これを教員と連携した図書館職員がサービスで支えようというものです。

教養セミナーによる利用ガイドをさらに発展させて、利用者からよくある質問や授業内容に沿った情報に関する初心者向けガイド（パス・ファインダー）を充実させます。またオンライン蔵書検索（OPAC）や電子ジャーナル、データベース、機関リポジトリといった様々な情報資源から必要な情報を早く的確に発見するための、同一のインターフェイスでのサービス（ディスカバリーサービス機能）を強化し、グループによる「自学・自習」の支援をめざします。

## 新しい図書館のデザイン

その充実のためには、モジュールを重視した

新しい教養・専門カリキュラムとの連動、NU-Web Systemと図書館サービスの接合、e-learningの活用、図書館を利用したモデル授業の実施、論文やレポートの作成力を養う



ライティングセンターの設置などが課題となります。改修を機にこれら支援サービスのスペース・動線・機材・書架・人員配置を見直し新しい図書館のデザインに取り組みます。

## 電子情報の更なる充実

研究支援として電子ジャーナルや機関リポジトリ、データベースといった電子情報の更なる充実を図ります。全国的には、膨大なデータや高性能コンピュータを用いたネット上の研究協力と基盤整備（e-science）、膨大な計算機機能・学術情報・人材・研究グループ等を学術コミュニティ全体の共有財産として、超高速ネットワーク上に基盤を創り出すサイバー・サイエンス・インフラストラクチャー（CSI）の整備が進んでいます。長崎大学の図書館や情報メディア基盤センターがこれにどのように対応できるか、大きな課題です。

## 特別コレクションと国際貢献

古写真や武藤文庫、原爆関係、感染症、長崎の初期学校史資料といった特別コレクションの収集・整理・公開は長崎大学の個性を内外に表明するシンボルとして重要です。国際貢献をにらみながら、長崎大学ならではの発信に努めます。

以上の課題に対応するには、図書館職員の資質・能力の向上が不可欠です。学習支援と教育関与、研究支援のそれぞれに高い専門性が求められてきています。研修の機会をさらに充実させ、キャリアパスの形成についても検討していきます。（2011年6月13日）

# 経済学部分館長就任にあたって

経済学部分館長 赤石 孝次

本年4月1日付けで経済学部分館長に着任した赤石です。引き継ぎに際して、矢島前分館長から、改善の兆しはあるものの、学生の図書館利用率が低く、図書館本来の姿を取り戻す道筋を考えて欲しいという大きな宿題を与えられました。この大きな課題について、この2ヶ月の間に考えたことを述べさせて頂くことで着任の挨拶に代えたいと思います。

## 大学図書館の使命とそれを取りまく環境

社会が大きな変化に直面している現在、大学には、真理を追い求め、未来への確かな指針を示す学術研究と、今後の社会の担い手となる優れた人材の育成がこれまで以上に強く期待されています。これらの教育研究活動にとって必要不可欠な学習・研究支援が大学図書館の中心的な使命であると考えています。その使命を果たすためには、良質な学術情報の収集、保存、安定的な提供といった機能にとどまらず、情報発信・アクセス・活用サービス機能をも含めた総合的な機能の充実に努めていくことが必要だと思っております。

一方、図書館をめぐる財務上の制約や施設の狭隘化という物理的制約は、安定的な学術情報基盤の整備を難しくしています。これらの制約の中で、電子媒体と紙媒体との相補的な学術情報基盤の整備、学習・教育に資する学生用図書館の充実とその利用機会の工夫に努めてまいりました。このことは、歴代分館長をはじめ図書館職員の方が「経済学部の底力はその図書館をみれば分かる」と考えてこられた証左であると思っております。安定的な学術情報基盤の提供は、研究者や学生による十分な活用を可能にすることで、識見を自ずと深め、経済学部の評価を高めることになるからに他ならないからです。

## 知識フローと知識ストックのポジティブ・フィードバック

フローとしての個々の情報を自分で編み込むために必要な「ストックとしての知識の体系や構造」＝「教養」を把握するには、知識のストックとしての図書館の利用が不可欠です。しかし、現実には、「経済学部の底力はその図書館をみれば分かる」とは言えない装飾品陳列貯蔵庫・避暑学習室のような状況を呈していることを示しています。この点に関して、長尾真国立国会図書館長は、図書館を学習・教育と有機的に関連付けた講義を行う欧米とは異なり、日本では、大学教員がその場完結型の講義に終始しているため、学生は図書館の利用の仕方をあまり知ら

ないという厳しい指摘をしています（長尾真（2008）、「討論情報化社会と図書館・アーカイブズ」『別冊環⑮、図書館・アーカイブズとは何か』藤原書店、p. 34）。もしこの長尾真の指摘があてはまるとすれば、図書館を活用したポジティブ・フィードバックを作り出す教育学習支援体制の構築を考えていかなければ、学生が真の教養を身につける機会をいつまでも提供できないと思っております。

## Web 時代ゆえに高まる図書館の役割

また、図書館の電子化は、施設の狭隘化を解決する手段を提供し、量、スピード、正確さ、オンデマンドでの利用可能性の面で、研究者や学生の利便性を飛躍的に高め、学生の図書館離れを加速させる、と考えられるかもしれません。しかし、真理を求めて格闘してきた先人の営みにより築かれた教養という知の共通基盤がなければ、たとえ紀要論文や書籍・雑誌の最新版を電子媒体で漁っても、底の浅い、深みのない理解しかできなくなる恐れがあります。それは絵画鑑賞が、本の上でその写真を眺めることと等価ではないのと同じです。この点からすれば、電子媒体の普及は紙媒体の情報を駆逐するのではなく、相補的に知識のストックとしての図書館の重要性をますます高める要因になっていくと考えております。

## 「絨毯のがらにまぎれた形」を発見する楽しみ

アルベルト・マンゲルは、「図書館は秩序と混沌の場というだけではない。それは偶然の場でもある。・・・本のなかに貯蔵された物語は、ヘンリー・ジェイムズのいう「共通の関心」のまわりに群がる。「共通の関心」は往々にして読者の目にとまらない。「真珠をつなぐ糸、埋もれた宝物、絨毯のがらにまぎれた形」であると述べています（アルベルト・マンゲル＝野中邦子訳（2008）『図書館愛書家の楽園』（白水社）p. 151）。現在、全学的に真摯な議論が行われている教養教育の改善努力の中にあって、図書館には、学生が「絨毯のがらにまぎれた形」を発見する楽しみに気づき、自分なりの手だてで世界を再解釈していく術を身につける支援体制の構築が求められているのではないのでしょうか。「愛書家の楽園」に身をゆだねる楽しさに触れてもらえる図書館の実現に向けてお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

（平成23年6月6日）

長崎歴史文化博物館にて古写真展開催中

7月8日(金)まで

# 長崎・寫眞傳來

知られざる日本写真開拓史  
四国・九州・沖縄編

## 6月11日(土)開幕!

附属図書館は長崎歴史文化博物館などとの共催で、古写真展「長崎・寫眞傳來 知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編」を7月8日(金)まで開催しています。



主催者・来賓代表によるテープカット

6月11日(土)、会場の長崎歴史文化博物館において、開会式を行いました。あいにくの荒天にもかかわらず、報道関係者を始め多くの方にお集まりいただきました。関係者・来賓の挨拶のあと、3階の企画展示室に移動してテープカットで開幕しました。展示会場では、博物館学芸員が、見所や代表的な写真について解説し、参加者は一点一点、熱心に見入っていました。

## オリジナル写真＝本物の展示

今回の写真展の最大の特徴は、オリジナル写真の展示であるということです。昨年の「幕末長崎古写真展」では大きく引き伸ばしたパネル等を展示し、その迫力や見えてくる情報の多さでご好評をいただきました。今回は、すべて「本物」にこだわり、幕末・明治期のオリジナルの写真そのもの、アルバムそのものを展示しています。写

真の裏面や台紙も見えるよう、展示方法も工夫しています。

室内は、光に弱い写真を守るため照度を落としてあります。展示物に顔を近づけ、じっくり向き合うことによって、時代を生き抜いてきた「モノとしての写真」が放つ雰囲気や力を感じ取ってください。

## 九州・四国・沖縄の未公開写真を一同に集めて

本展は、東京都写真美術館が、四国・九州・沖縄の公共機関が所蔵する幕末から明治期の写真や資料を調査・体系化した展覧会「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編」を巡回展示するものです。長崎会場では、当館や長崎歴史文化博物館の写真を追加して展示しています。

当館所蔵の登録有形文化財「ボードインコレクション」、新収蔵の「牧元次郎関係古写真」などのほか、日本写真の祖である上野彦馬の肖像写真(ガラス板)(日本大学芸術学部所蔵)、内田九一の未公開アルバム「Views of Japan」(長崎歴史文化博物館所蔵)など、貴重な資料を展示しています。ぜひ、この機会に本物をご覧ください。

## 姫野館長らの講演会を開催

期間中、博物館1階ホールで展示会に関連する講演会を2回開催しました。

6月11日(土)

天野圭悟氏 (初期写真研究家)

「日本写真史における長崎」

6月19日(日)

姫野順一教授(長崎大学附属図書館長)

「古写真に見る世界史のなかの長崎」

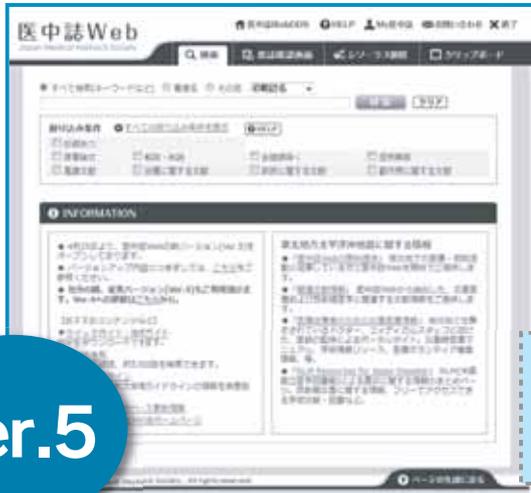
## 長崎大学附属図書館所蔵「幕末・明治期日本古写真コレクション」

長崎大学附属図書館は、7千点を超える日本有数の古写真コレクションを所蔵しています。日本に写真技術が導入された江戸時代末期の1860年ごろから、明治30年(1897年)代ごろまでに撮影された黎明期の写真です。撮影場所は日本各地。被写体は、刀を差した武士、鉄道や洋館、庶民の職業や暮らし、そして美しい日本の自然など多岐にわたります。

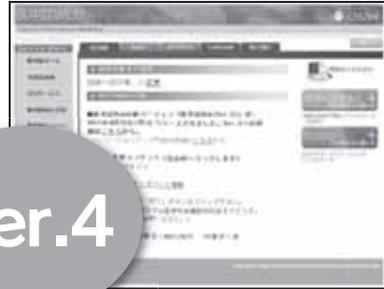
長崎大学では収集した写真をデータベース化し、インターネットで公開しています。アクセスは開設以来のべ200万件を突破しました。また、附属図書館内、公開貴重資料展示室(常設)では、見やすいパネル展示でお気軽に古写真をご覧ください。

医中誌Web  
Japan Medical Abstracts Society

## 医学系文献データベース 「医中誌Web」バージョンアップ



Ver.5



Ver.4

坂本地区・文教地区限定  
同時アクセス数9

4月25日に国内の医学・歯学・薬学・看護学分野の文献データベース「医中誌Web」がver.4からver.5にバージョンアップし、画面のデザインも一新しました。

これまでBASICモードとADVANCEモードに分かれていた検索画面は1つに統一され、より直感的に操作できるようになりました。従来は検索対象年が初期設定で過去5年分となっておりますが、始めから医中誌掲載のデータ全年分（1983年から現在まで）を検索できるようになっています。

医中誌WEBは、**坂本地区・文教地区**からご利用いただけます（**同時アクセス数9**）。

[図書館ホームページ](#) > [データベース](#) もしくは [医学分館ホームページ](#) からどうぞ。

## 平成2年医学部卒業生から図書館に寄附

医学部の卒業生は、卒後20周年を機に母校と後輩たちのために寄附を行う伝統が続いています。このたび、平成2年卒業生の方々から、寄附金が贈られました。

これを受けて、6月3日（金）に中央図書館で、卒業生からの寄附金に対する感謝状の贈呈式を行いました。



贈呈式にて  
左から森医学分館長、片峰学長、  
医学部卒業生代表阿比留教生氏、姫野図書館長

はじめに姫野順一図書館長から感謝の挨拶と感謝状の贈呈があり、続いて卒業生を代表して、阿比留教生氏から学生時代の思い出や、同窓生の現在の活躍の紹介をかねた挨拶がありました。

最後に、片峰茂学長から「卒業生および在学生は、大学にとっては宝である。卒業20年を迎えた皆さんが、このように立派に成長し、後輩の学習と研究のために寄附していただいたことは、たいへんありがたい。在学生も今回の寄附によって充実した資料を活用し、立派に成長し、社会で活躍してくれるよう期待したい」というメッセージが送られました。

# データベース NEWS



この春、新しいデータベースが仲間入りしたんだって！  
データベース利用講習会もたくさん開催されたいよ。

えっ!? これまで片淵キャンパスでしか利用できなかった  
あのデータベースが、全キャンパスで利用できるの？



1

## 新規データベースご紹介

科学技術や医学・薬学関係の文献情報データベース“JDreamII”を導入しました。学協会誌、会議・論文集、予稿集、企業技報、公共資料など約5500万件の文献が収録されています。



2

## 学内環境変更のお知らせ

これまで、片淵キャンパスでのみ利用可能だった“日経テレコン21”と“D1-Law.com”が、2011年4月から文教キャンパスと坂本キャンパスでも、利用可能になりました。



3

## 利用講習会開催報告

6月に、下記データベースの利用講習会を開催しました。

- ・ SciVerse Scopus (6/2~3)
- ・ JDreamII (6/9)
- ・ 医中誌Web (6/9)
- ・ SciFinder Web版 (6/20~21)
- ・ eol (6/29)



## 附属図書館では、定期的にデータベースの利用講習会

を開催しています。研究や学習に役立つ様々な情報や検索のノウハウを専門の講師がわかりやすく解説しますので、ぜひご参加ください。

※講習会の開催情報は、図書館のHPや館内掲示でチェックしてください。

## 【JDreamIIの利用講習会を開催しました！（中央図書館）】

ユサコ株式会社から講師を招いて、6月9日（木）にJDreamIIの利用講習会を開催しました。基本のキーワード検索から始まり、書誌情報のダウンロードの仕方や著者名検索の際の注意点などを実習も交えながら細かく解説していただきました。

JDreamIIは、科学技術分野最大のデータベースであり、国内論文から海外論文まで、幅広く文献を収集することができます。また海外文献も、日本語のキーワードから検索することができますので、英語が苦手な方にもおすすめです！ご利用は、図書館ホームページのデータベースリンク集からどうぞ。



<JDreamII 利用講習会風景>



# 電子ブックを読んでもみよう!

電子ブックとは、インターネット上でフルテキストを閲覧できるオンラインブックです。学内 LAN に接続した端末からであれば、いつでもどこでも 24 時間閲覧することができます。

これまで閲覧可能な電子ブックは洋書だけでしたが、2011 年 4 月に NetLibrary を導入して、和書も閲覧できるようになりました。

## NetLibrary とは…

世界最大級の eBook (和書・洋書) コレクション。長崎大学では、現在 31 タイトルの和書を契約しています。これにより 3461 タイトルの洋書もフリーで閲覧可能となっています。Web ブラウザで開くので、リーダーなどは必要ありません。全文検索機能やメモ機能なども備えています。

## 電子ブックのアクセスはこちらから ↓

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/nagasaki-u/ebook/index.html>

※電子ブックの 1 冊あたりの同時アクセス数は 1 です。利用後はすみやかに終了してください。

### <NetLibrary の契約タイトル一覧>

- ・オラン・ウータンの島：ボルネオ探訪記
- ・ケータイで人はどうなる：IT 世代の行方
- ・ゲノムを読む：人間を知るために
- ・サルトルの文学
- ・トルコの歴史：オスマン帝国を中心に
- ・フィレンツェ歴史散歩
- ・フレッシュマンセミナーテキスト：大学新入生のための学び方ワークブック
- ・ヨーロッパ人相学：顔が語る西洋文化史
- ・一流の科学者が書く英語論文：Catalyst for a successful scientific career
- ・中国の近代と儒教：戊戌変法の思想
- ・人格主義の思想
- ・企業の社会戦略と NPO：社会的価値創造にむけての協働型パートナーシップ
- ・偶然の宇宙
- ・化学工学の基礎
- ・対話という思想：プラトンの方法叙説
- ・意識の哲学：クオリア序説
- ・授業評価活用ハンドブック
- ・日本語学のしくみ
- ・日本語文法のしくみ
- ・日本語語用論のしくみ
- ・日本語音声学のしくみ
- ・日本銀行のプルーデンス政策と金融機関経営：金融機関のリスク管理と日銀考査
- ・映画で読むシェイクスピア
- ・理学療法の本質を問う
- ・社会言語学のしくみ
- ・経済・経営のための基礎数学
- ・臨床医のための EBM アップグレード
- ・言語学のしくみ
- ・討議と人権：ハーバーマスの討議理論における正統性の問題
- ・認知意味論のしくみ
- ・電気・電子のための基礎英語：数式・図形・電気の英語表現

出張先やご自宅から NetLibrary の電子ブックを利用したい方には、ID とパスワードを発行いたします。申請書にご記入の上、中央図書館参考調査担当までご提出ください。

申請書のダウンロードおよび、学外からの NetLibrary の利用方法は下記ページをご覧ください。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/search/ej/resolver/remote.html>

<お申込み・お問い合わせ先> 附属図書館参考調査担当  
TEL：095-819-2200 E-MAIL：sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp



# 受けた? 図書館ガイダンス(2011)

中央図書館 教養セミナー「資料収集ガイダンス」

## 理解度UPのためにグループワークを導入!

中央図書館では、4月11日～5月24日にわたり、新入生を対象とした教養セミナー「資料収集ガイダンス」を開催しました。このガイダンスは、1年生の必須科目である教養セミナーの1コマを使って、図書館の利用方法や資料の探し方について紹介するものです。

今年度から学部ごとのクラス編成に変更となったのを機に、ガイダンスのコンテンツも大幅にリニューアルしました。まず基本の講義は、例年通り実習を中心として、レポート作成における資料収集の方法に重きを置いた内容に変更しました。また図書館の設備や資料の配置を説明する館内ツアーは、バーチャル化することで、時間短縮と内容の充実を図りました。そしてガイダンスの最後に、グループで協力して1つの課題を解決する『グループワーク』を取り入れました。講義の中で解説したOPACやCiNiiなどを用いて、論文の調査と資料の検索に取り組んでもらいましたが、実践的活動を取り入れることで、より理解を深めることができたのではないかと思います。



グループワーク風景

ガイダンス後のアンケートでは、「仲間と協力できて、楽しかった」、「最後にグループ活動をして、より理解が深まった」、「このガイダンスがなかったら、きっと図書館を利用しようと思ってなかった」など、グループワークの成果が窺える嬉しい感想をたくさんいただきました。お寄せいただいた声を今後のガイダンスに活かして、さらなる学習支援に努めていきたいと思ひます。

(参考調査担当)

ガイダンス参加クラス(人数)	
教育学部	18クラス (226名)
経済学部	2クラス (21名)
薬学部	8クラス (87名)
工学部	30クラス (403名)
環境科学部	13クラス (126名)
水産学部	11クラス (109名)
計	82クラス (972名)

## 図書館ガイダンス 各館で いつでも受付中!

図書館ガイダンスは、ご要望に応じて随時実施しますので、いつでもお申し込みいただけます。大学院入学や編入学の方、今まであまり図書館を利用しなかったという方は、ぜひ一度受けてみてください。お一人でも、お友達と一緒に、ゼミ単位でも大丈夫です。ガイダンスの内容もご希望に応じます。資料の探し方から、webサービスの利用方法、データベースの紹介など、大学生活や論文執筆に役立つ情報を図書館職員が詳しく説明します。お申し込み時に希望の内容をご相談ください。

### お問い合わせ・お申し込み

中央図書館(参考調査担当) [sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp](mailto:sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp)  
 医学分館(医学情報担当) [medinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp](mailto:medinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp)  
 経済学部分館(経済情報担当) [ecoinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp](mailto:ecoinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp)

### 図書館ガイダンス(2011)で使用したテキストは、webからご覧いただけます

図書館HP > 図書館をつかう > 図書館ガイダンス案内  
<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/guidance/>



**医学分館 資料収集ガイダンス&医学系文献検索講義**

**医学系データベースの活用も**

医学分館では、今年も4月から5月にかけて、坂本キャンパスの学部・大学院の新生および在籍生を対象に館内ツアーや文献検索などの図書館ガイダンスを行いました。

今年度から坂本地区の学生に対しては、教養セミナー「資料収集ガイダンス」を医学分館で開催することになり、中央図書館バーチャルツアーや保健学科図書室の利用法など学部・学科に応じた内容で実施いたしました。

保健学科看護学専攻の4年生には、卒論指導の授業の中の1コマをいただき医中誌WebやPubMedを中心に、文献の検索方法についての講習会を行いました。



「医と社会」図書館の利用法

医学分館では、PubMedや医中誌Web、CINAHLなどの医学系データベースや電子ジャーナルの利用方法、文献の取り寄せなどのガイダンスもご要望に応じて実施しています。

お1人から各部局や教室・研究室単位での申し込みも受け付けておりますのでお気軽にお問合せください。(医学情報担当)

<b>医学分館館内ツアー</b>
医学科1年 (116名) , 保健学科1年 (110名) 熱帯医学研究所 (17名) 国際健康開発研究科 (10名)
<b>「情報処理入門」文献検索の方法</b>
医学科1年他(122名) 保健学科1年 (107名) 歯学部1年 (49名) 「医と社会」図書館の利用法 医学科1年 (116名)
<b>教養セミナー資料収集ガイダンス</b>
医学科1年(105名) 保健学科1年(107名) 歯学部1年 (8名)
<b>文献検索ガイダンス</b>
保健学科看護学専攻4年(83名) 国際健康開発研究科 (9名)

**経済学部分館 「経済学部分館ガイダンス」**

**今年度は就職ガイダンスでも講義を実施**

経済学部分館では、毎年4月から5月にかけて「経済学部分館ガイダンス」を実施しています。今年も、図書館の職員が、新生に対して、館内の資料配置説明や、パソコンを使った資料収集方法についての説明などを行いました。

また、上級生向けの「情報検索ガイダンス」も実施し、資料・データの集め方、ウェブ上で論文を見る方法、参考(引用)文献や著作権についてなど、論文やレポート作成時の情報収集に役立つ説明を行いました。

さらに、今年度は、経済学部で実施している就職ガイダンス内でも1コマ「就職活動における附属図書館の利用方法」の講義を行いました。就職活動経験を交えながら図書館資料の利用方法を説明したり、図書館職員がおススメする本の紹介などを行いました。また、講義の最後には希望者に経済学部分館のミニツアーを行い、講義中に紹介した本の配架場所など説明をしました。参加者からは、「面白かった」「良かった」という感想があり、好評でした。

経済学部分館では個別の利用案内や情報検索ガイダンスもお受けしております。皆さまのお申し込みをお待ちしています。(経済情報担当)



就職ガイダンス講義

<b>経済学部分館ガイダンス</b>
経済学部 36クラス (374名)
<b>情報検索ガイダンス</b>
経済学部 9クラス (75名)
<b>就職ガイダンス</b>
経済学部 (20名)

# 学長推薦図書コーナー



片峰学長(右)と熱帯医学研究所の山本太郎教授(左)  
※推薦図書に山本教授の著作が含まれています。

今年の3月に開設した学長推薦図書コーナー。片峰茂学長に推薦していただいた「新生におすすめの本」を展示しています。

展示開始から約3ヶ月が過ぎましたが、人気はとどまるどころかあがる一方！

新生はもちろん教職員や在学生、学外の方も、コーナーの前で足を止めて、本を手にとってくださっているようです。

さて、最近新しい本が1冊仲間入りしました。新潮社発行の「これからを生きる君たちへ」です。

東日本大震災後に行われた全国の卒業式で、各地の校長や学長が卒業生に向けて贈った感動のメッセージが収録されています。

長崎大学の片峰茂学長の『贈る言葉』も紹介されていますので、ぜひご覧ください。

前号に引き続き、片峰学長の推薦コラム第二弾！今回は、渡辺淳一著の「遠き落日」です。大学卒業後、医学者時代の学長のご様子を窺うことができますよ。

新生への推薦図書より

## 渡辺淳一の「遠き落日」

1976年大学を卒業し、医師としての研修の後、基礎医学の研究者としての途を歩みだしてからは、読書量は激減した。読むものといえば、そのほとんどは横文字の学術論文であり、新聞・雑誌はともかく、書店に自ら足を運ぶことも減多になくなってしまった。この時期に出会った数少ない本の中で、とくに心に残っているのが、渡辺淳一の「遠き落日」である。研究者としての志を立てた30歳の頃に、先輩に勧められて読んだ。日本の代表的な偉人(千円札にもなっている)野口英世の生涯を描いた作品である。清貧の中で育った野口が、人並みはずれた努力と闘争心で、世界的な細菌学者として米国で名を成し、黄熱病研究の最中アフリカのガーナで客死するまでの生涯を、克明な取材に基づきビビッドに描いている。野口の母の途な親子愛も感動を誘う。ただ、この本が通常の偉人伝と異なるのが、野口の正の側面に止まらず、負の側面も描いていることである。野口の心に潜在する身体的・人種的コンプレックスや、異常なまでの出世欲や他人への嫉妬心、そして生活者失格ともいうべき金銭感覚の欠如などである。当時の自分の専攻(細菌学・ウイルス学)が野口と同じ学問分野であったことや、自分の心に秘めた野心や、その一方での破滅型願望などなど、当時の自分自身を若き日の野口に重ね合わせた。強い共感に打ち震えながら一気に読破した。この時の感動が、自分の初期の研究者人生における心の糧となったことは間違いない。

話は変わるが、4年前小泉元首相のリーダーシップで、野口の業績を顕彰して「野口アフリカ賞」が創設された。第1回の受賞者が、長年にわたり子供、女性、HIV/エイズ分野を中心にアフリカの人々の健康と福祉の増進に献身されてきたミリアム・ウェレ女史である。女史は賞金の1億円を基金に財団を創設され、現在ケニアのエイズ孤児(両親をエイズで失った子供たち)の養育と教育に力を注がれている。昨年5月、私は熱帯医学研究所のナイロビ拠点に1週間ほど滞在したが、ある日、女史が子供たち10名を伴ってわざわざ会いにきてくれた。その際、子供たちが野口英世の一生を描いたスワヒリ語による紙芝居を我われに披露してくれた。衝撃的な感動であった。女史によると、野口への感謝と尊敬を表すために、さまざまな機会にケニア各地で上演しているとのことであった。野口は死して80年後の今もなお、アフリカと日本の架け橋でありつづけているのである。

本学  
寄贈  
関係  
図書

## 長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました (平成23年1月1日～平成23年5月31日分)

### 勝俣 隆 教授【教育学部】

- そうだったのか! すっきりわかる日本の神話 / 『歴史読本』編集部編-新人物往来社, 2011. 1  
[中央図書館 164. 1 | R25 1547842]
- 愛の神話学 / 篠田知和基編-楽瑯書院, 2011. 3  
[中央図書館 164. 04 | Sh66 1547843]
- 神話・象徴・言語 3 / 君島久子, クロード・ゲニユベほか [著] ; 篠田知和基, 比較神話学研究組織編-楽瑯書院, 2010. 12  
[中央図書館 164. 04 | Ki32 | 3 1547844]

### 須齋 正幸理事・副学長, 内田 滋 教授【経済学部】

- Studies on financial markets in East Asia / Masayuki Susai, Shigeru Uchida editors-World Scientific, c2011  
[中央図書館 338. 22 | Su77 1547531]  
[経済学部分館 338. 22 | Su77 3170812, 3170813]

### 村山 晴彦 元教授【経済学部】

- データが語る経済変動のメカニズム: マクロ経済学再構築の試み / 村山晴彦著-多賀出版, 2011. 3  
[中央図書館 331. 19 | Mu62 1547617]  
[経済学部分館 331. 19 | Mu62 3171107]

### 相樂 隆正 教授【工学部】

- Các phương pháp phân tích trong hóa học / chủ biên Makoto Takagi-2010  
[中央図書館 433 | Ta29 1544681]

### 高橋 和雄 名誉教授【工学部】

- 1990-1995雲仙普賢岳の火山災害に関する文献目録 / 高橋和雄 [編]-高橋和雄, 2010. 9  
[中央図書館 369. 31 | Ta33 1545149]

### 戸田 清 教授【環境科学部】

- 低線量内部被曝の脅威 : 原子炉周辺の健康破壊と疫学的立証の記録 / J・M・グールド著 ; 肥田舜太郎 [ほか] 共訳-緑風出版, 2011. 4  
[中央図書館 493. 195 | G73 1547767]
- 動物の解放(改訂版) / ピーター・シンガー著 ; 戸田清訳-人文書院, 2011. 5  
[中央図書館 480. 9 | Si8 1548287]

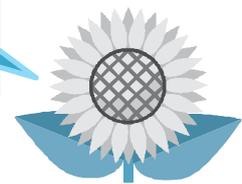
### 中垣内 真樹 准教授【大学教育機能開発センター】

- 長崎さかだんウォークのすすめ: ころをいやす歩きかた / 中垣内真樹著-長崎文献社, 2010. 12  
[中央図書館 291. 93 | N32 1545413]
- 中高年者の疾病予防・改善のための運動プログラム(第2版) / 田中喜代次, 牧田茂編集-ナッパ, 2010. 6  
[中央図書館 780. 19 | Ta84 1545416]  
[医学分館 780. 19 | Ta84 2141560]
- 中高年者の元気長寿のための運動プログラム(第2版) / 田中喜代次, 中垣内真樹, 重松良祐編集-ナッパ, 2010. 6  
[中央図書館 780. 19 | Ta84 1545418]  
[医学分館 780. 19 | Ta84 2141561]

### 長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構

- へき地病院再生支援・教育機構の歩み平成21年度版-[長崎大学病院], [2011]  
[中央図書館 498. 04 | N21 | 2010 1547829]  
[医学分館 498. 04 | N21 | 2010 2142584]

ご恵贈いただいた先生方  
ありがとうございました



中央図書館・本学関係教員  
寄贈図書コーナー(貸出可)

## 本を出版されたら、ぜひ図書館へ! 著作のご寄贈をお願いします

附属図書館では、各館に先生方の著作物を展示するコーナーを設け、寄贈していただいた図書、雑誌を学生の皆さんに紹介しています。

執筆、翻訳、編集などに関わられた図書が出版されましたら、ぜひ、図書館へ寄贈してください。よろしくお願い申し上げます。

# 前期試験/夏休み中の 開館時間・休館日・長期貸出のお知らせ



休館日・開館時間は右の携帯サイトでも確認できます  
URLを登録しておくとう便利です



## 試験期間中の開館時間（土日祝日は夜8時まで）

	適用期間	平日開館時間	土日祝日開館時間
中央図書館	7月16日(土)～8月7日(日)	8:30～22:00	10:00～20:00
医学分館	7月9日(土)～7月24日(日)	8:30～22:00	10:00～20:00
経済学部分館	7月16日(土)～8月7日(日)	8:30～22:15	10:00～20:00

(平日は変更ありません。適用期間は、各学部の試験期間に対応しています)

**休館日(全館)：8月13日(土)～8月17日(水)**



## 夏休み期間中の開館時間

	適用期間	平日開館時間	土日祝日開館時間
中央図書館	8月18日(木)～9月30日(金)	8:30～17:00	10:00～17:00
医学分館	夏季休業中も通常通り	8:30～22:00	10:00～18:30
経済学部分館	8月18日(木)～9月30日(金)	8:30～20:00	10:00～17:00

## 夏休み長期貸出：貸出期間と返却日

対象資料 中央図書館，経済学部分館の所蔵資料

貸出期間 7月29日(金)～9月23日(金)

返却期限 10月7日(金)

\* 貸出冊数の変更はありません。医学分館所蔵の資料は対象外です。



試験に必要な図書や、夏休みに読みたい本をリクエストしましょう！  
中央図書館ではリクエスト上限が1人年間10点まで(合計5万円まで)になりました

和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 No.114 2011年(平成23年)7月1日発行

編集責任者 学術情報部学術情報サービス課長 高木 貞治

館報編集担当 志波原 智美・浦 さやか・松田 綾・松村 悠子・後藤 史彦

発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14 Tel (095)819-2199(サービス企画担当)

附属図書館ホームページアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

図書館報アドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/about/kanpo/>